

福祉 おいかみ

R6
No. 1

編集発行：老上学区社会福祉協議会
〒525-0055 草津市野路町520番地（老上まちづくりセンター内）
TEL 077-564-1430

社会福祉協議会のマークです

評議員会で令和6年度活動計画・予算を決める 多彩な地域福祉活動を推進

少子高齢化が進む中、高齢者世帯の増加の一方で駅前マンションの建設、宅地開発により若い世代の増加、新旧格差の取り組みが課題となっています。

まちづくりセンターを拠点に居場所づくり、交流の場づくりに努め、親しまれているカフェほっこりの開催、子育てサロン、地域福祉員活動、地域サロン、

送迎サポートの支援等、医療福祉を考える会議でのピカッと草津の駐車場問題など、地域の団体や関係機関とのネットワークを通じ連携強化に努めます。

子どもから高齢者まで一人ひとりが、老上に住んで良かったと喜ばれる安心安全な福祉のまちづくりを目指します。（活動方針から）

予算額は2,191,725円で、会費、寄付金、助成金が収入となり、町内福祉活動やボランティア連絡協議会への助成を始め、地域福祉活動に支出しています。また、200万円の「老上ふれあい基金」を管理しています。（予算から）



山本清治 会長

令和6年度本部役員

- | | |
|-------|--------|
| 会長 | 山本 清治 |
| 副会長 | 田村 強 |
| 副会長 | 古川 謙治 |
| 副会長 | 奥長 敏夫 |
| 副会長 | 上野 正則 |
| 副会長 | 久米田 豊子 |
| 常任評議員 | 小林 潔 |
| 会計 | 西村 明美 |
| 事務局長 | 一ノ瀬 理 |
| 事務局員 | 寺尾 善明 |
| 事務局員 | 上窪 のり子 |
| 事務局員 | 石本 恵津子 |
| 事務局員 | 山本 広美 |
| 監査 | 熊川 勉 |
| 監査 | 荒木 博子 |

継続事業の充実を目指します

◆地域福祉活動

ミニふれあいサロン、ほのぼのサークルなど住民による福祉活動事業を推進・支援します。

◆高齢者福祉活動

送迎サポート事業の支援や福祉施設に激励訪問や交流会を実施します。

◆地域ふれあい活動

「カフェほっこり」の支援や地域医療福祉のサポートを行います。

◆賛助会員等の拡充

企業や個人の参加も得て、福祉の輪を広げます。また、赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動を推進します。

◆児童、父子、母子福祉活動

子育てサロン助成や、こども園などと交流活動を行います。

◆地域各種団体と連携強化

連携する各団体の基盤を強めるための助成を行います。

◆研修会、講座活動

構成団体から選出されている評議員、福祉委員による研修実施や市社協などの研修に参加します。

◆委員会等への活動支援

ボランティア連絡協議会やまちづくり協議会の委員会活動を支援します。

社会福祉協議会と防災

全国で起こる大きな災害のあと、社会福祉協議会の活動がニュースで取り上げられます。災害に備えた私たちのまちの社会福祉協議会取材しました。

草津市社会福祉協議会

地域福祉活動を活かす防災

社会福祉協議会(社協)は日常の福祉活動の中で、地域の人々や様々な機関・団体と密接なつながりを持つ民間団体です。さらに全国的なネットワークもあって、災害があったときに、行政と連携して、生活再建などの取り組みを継続的に行っていきます。

ここでは草津市社協の取り組みの一部を紹介します。
(取材:老上学区社協事務局)

災害ボランティアセンターの運営

災害が起こった際に、市内外から支援に来られたボランティアの力を被災者にスムーズにつなぐ役割を担うのが災害ボランティアセンターです。



毎年1月に市内各学区からの参加者を中心に災害ボランティアセンター運営訓練が行われます。被災者のニーズとボランティアの力をマッチングさせ

令和6年1月27日 さわかや保険センター

るなど、多種の想定をもとにした実践的な訓練です。

能登半島にも市社協から応援

能登半島地震の被災地である七尾市へ市社協からも支援に行かれました。その体験を老上学区SOS委員会で、市社協の内田さんから報告していただきました。



3月 七尾市

老上学区社会福祉協議会

老上学区防災ネットワークに参加



4月に「老上学区地区防災計画(地震編)」が作成がされました。

学区内の町内会、マンションや諸団体が防災ネットワークを構成し、平常時からのコミュニケーションで発災時の備えを高めます。

老上学区地区防災計画

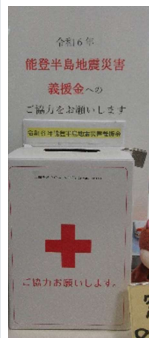
私たち老上学区社会福祉協議会もこのネットワークに参加して、安心安全なまちづくりに努めます。

災害をテーマにした研修会開催



R5年12月18日キラリエ草津

毎年1回は研修会が行われます。昨年12月には「命を守る(災害発生直後に地域住民が求められる役割)」「災害ボランティアセンターの取り組みをととした地域福祉活動の大切さ」「暮らしを取り戻す」をテーマに開催され、老上学区社協からも参加しました。



令和6年能登半島地震災害 義援金受付

老上まちづくりセンターに募金箱を設置しています。お寄せいただいた義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送ります。

窓口業務 8:45~

災害ボランティアセンター 運営協力者 募集



草津市災害ボランティアセンターを立ち上げた際に、活動して下さる個人または団体を募集しています。

【草津市社会福祉協議会】
TEL077-562-0084